

- ・「永戸本」発刊記念シンポジウム  
／センター・田中 研修活用呼びかけ 2
- ・シニアコミュニティワーカーズ集会 3
- ・センター つながりや出会いが力に 4
- ・共同連40周年大会／障がい者就労PJ 5
- ・センター関西 気候環境ボードゲーム 6
- ・藤沢で中村映画上映会  
／話し合いハンドブック読書会 7

# 日本労協新聞

## ICA・ワーカーズコープ

10/5  
(2025年)  
No.1393

発行所 日本労働者協同組合連合会 (JWCU)  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋1丁目44-3 池袋ISPタマビル7階  
☎03(6907)8040 FAX 03(6907)8041  
毎月 5日・15日・25日発行  
会員外は1部165円 年5940円(送料7452円)  
郵便振替 日本労協連機関紙誌部専用  
東京 00170-8-186765

URL: https://jwcu.coop/ E-mail: info@roukyou.gr.jp

2025年10月5日

日本労協新聞

(1982年7月28日  
第3種郵便物認可)

第1393号

(2)



会場を埋めた参加者たち

永戸が弁護士になり  
たかったことを本で知  
らなかつた。第二次世界大  
戦でファシズムに抗っ  
たレジスタンス運動の  
拠点「ボローニャ」と  
いう町のことについて、  
永戸とじっくり話  
したかった。

東京大学名誉教授・白  
梅学園大学名誉学長  
汐見裕幸さん



「ボローニャ」のこと  
語り合いたかった

旬報社の木内洋育代  
表取締役社長が書籍発  
刊の経緯を紹介し、労  
協ワーカーズコープ・  
センター事業団理事長  
藤田徹さんと労協新聞  
前編集長松澤常夫さん  
が司会を務めました。

### 何を学び 未来拓くのか

7月16日に急逝した元日本社会連帯機構代表理事の永戸祐三  
さんが遺した著書「協同労働がつくる新しい社会」を出版した  
株式会社旬報社は、この本から何を学び、未来を拓くのかをテ  
ーマにしたシンポジウムを、9月12日に東京・神田の連合会館  
で開催。約100人が参加し、時代ごとに永戸さんと伴走して  
きた人たちが思いを語りました。(本紙 福本)

## 旬報社が「協同労働がつくる新しい社会」発刊記念シンポジウム 心に生き続ける永戸さん、もつと話したかった



興和ビルメンテナンス株式  
会社社長  
池山吉之助さん

永戸がやりたかった  
のは、憲法第一条で協  
同組合の設立を推奨し  
ているイタリアのよう  
なまちづくりではな  
かつた。第二次世界大  
戦でファシズムに抗っ  
たレジスタンス運動の  
拠点「ボローニャ」と  
いう町のことについて、  
永戸とじっくり話  
したかった。

出会って一晩中酒飲み  
一緒にやろうとなった



センター特別相談役  
田中羊子さん

うとなつた。よくやつ  
てきたと思うが、も  
つと価値を伝えねば。  
請負主義克服を  
いつも言われた

長兄は全日自労。ど  
ぶ掃除をしていた。永  
戸さんと一晩中  
酒を飲み、一緒にやろ  
うとなった。



日本社会連帯機構代  
表理事  
山本幸司さん

労働者協同組合の前  
史が終わり正史が始ま  
る今、本は永戸さんの  
遺言で、私たちへのエ  
ールだ。

も嬉しいことも組合員  
自身がやるのだと徹底  
して言われた。その通  
りやると、組合員は想  
像を裏切って立ち上が  
るし、意気に感じてく  
れる。組合員と自分が  
何も変わらないとわか  
り、人を、組合員を信  
じられるようになった。



評論家  
佐高信さん

私のYoutube番組  
に登場してくれた縁で  
今日がある。たった1  
回しか会っていないの  
に意気投合した。

本の中で「経営は怖  
い」と書かれている  
が、内なる部分に怖れ  
を潜めているところが  
、意気投合した理由  
かもしれない。

私は「自前」という  
言葉が好きで、永戸さ  
んとは、この「自前」  
について話してみたか  
つた。

### 会場からも沢山の発言が

東京外国語大学名誉  
教授で社連副理事長の  
西谷修さんは、「働くこ  
とは本来みんなで行  
うものだが、近代の経  
済産業社会では、雇  
われなければ労働じゃ  
ない。自分たちで仕  
事をつくること、その  
構造を壊そう」と、  
永戸さんのお姉さん  
と、協同労働運動は、  
社会を根元から変え  
る革命だ」と、大  
きな声で話した。

同じく社連副理事長  
と捉える視点が衝撃的  
で、一般社団法人しん  
きで、大きな気づき  
があった。

専務理事補佐の玉木  
信博さんは、「初めて  
う人なのに20年来の  
友のように仲間にな  
った」と話した。

動画は10月3日に  
Youtubeでアップさ  
れます。「シンポジ  
ウム『協同労働がつ  
くる新しい社会』か  
ら何を学び、未来  
を拓くのか」と検  
索してください。